

iUの研究所「B Lab」がNational Cheng Kung Universityの大学院学科 Institute of Creative Industries Design とMOUを締結し、B Lab Taiwanを設置

iU(情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長:中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>)の研究所「B Lab」(所長:石戸奈々子。以下、B Lab)は、台湾・台南にある National Cheng Kung University の大学院学科 Institute of Creative Industries Design (ICID)とMOUを締結し、ICIDを拠点とするB Lab Taiwanを設置しました。

B Lab Taiwanは、地域社会と連携した共創型のラーニングデザインをテーマに、大学と地域がともに学び合う新しい教育モデルの構築を目指します。B LabとICIDによる共同ワークショップや教員による招待講演、学術的な共同研究などを通じて、学生のみならず地域住民をも対象とした開かれた学びの場を提供していきます。

本活動を通じて、教育における創造性と実践性を両立させる新たな枠組みを提示し、台湾におけるクリエイティブ産業や学術的探究の発展にも貢献してまいります。



■ B Lab Taiwan オーガナイザーよりメッセージ

B Lab TaiwanのオーガナイザーにChia-Han Yang教授 (Chairperson, Institute of Creative Industries Design)が就任しました。以下、Chia-Han Yang教授のメッセージです。

Institute of Creative Industries Design (ICID) は、台湾・台南にある国立成功大学計画設計学部に所属する大学院学科です。ICIDは工業デザインにルーツを持ちつつ、製品志向から転換し、産業の企画・企業のイノベーション・製品とサービスを横断するデザインに焦点を当てています。戦略的マネジメントと現代テクノロジーを活用することで、創造的成果の経済的成功を後押しすることを目指しています。

B Labのプロジェクトと連携することで、両機関にとって新たな可能性を拓く未来をともに創造できることを願っています。

■ B Lab の概要

Beyond, Borderless, Breakthroughの頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなでつくるとのこと。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなでつくることを目指します。

<関連LINK> <https://www.blaboratory.org/>

■ B Lab Signs MOU with the Institute of Creative Industries Design at National Cheng

iU (Professional University of Information and Management for Innovation, located in Sumida City, Tokyo; President: Ichiya Nakamura, <https://www.i-u.ac.jp>) and its research institute "B Lab" (Director: Nanako Ishido) has signed a Memorandum of Understanding (MOU) with the Institute of Creative Industries Design (ICID) at National Cheng Kung University (NCKU) in Tainan, Taiwan, and has officially launched B Lab Taiwan with ICID as its base.

B Lab Taiwan aims to establish a new educational model centered on co-creative learning design in collaboration with the local community. Through joint workshops, invited talks by faculty members, and academic research projects led by B Lab and ICID, it will provide inclusive learning opportunities not only for students but also for local residents.

Through these initiatives, B Lab Taiwan seeks to propose a new framework that balances creativity and practicality in education, while contributing to the advancement of Taiwan's creative industries and academic exploration.

■ Comment from B Lab Taiwan Organizer Professor Chia-Han Yang

Institute of Creative Industries Design (ICID) is a graduate department within the College of Planning and Design at National Cheng Kung University in Tainan, Taiwan. While ICID has its roots in industrial design, it transitioned from being product-oriented to emphasizing a combination of industrial planning and enterprise innovation with a core focus on design alongside products and services. Strategic management and modern technology can develop the economic success of creative works.

We wish to collaborate with projects in B Lab, to bring more potential future to both institutes.

■ About B Lab

“B Lab,” derived from the initials of “Beyond, Borderless, Breakthrough,” is a research institute that serves as a participatory platform connecting universities, research institutions, regions, and talents worldwide. It’s a participatory platform fostering collaboration to generate innovative technologies, services, and businesses for societal impact. Anyone, from parents to children, is a researcher. The goal is to create an interesting future by matching challenges, ideas, technologies, funds, skills, and people.

Learn more at <https://www.blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位（iU独自調査）、起業数は全国8位（経済産業省調べ）の、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間のインターンシップも経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数45以上、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、客員教員1,000人以上。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：30名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

①組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

②アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施

・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp